

トヨタ純正

ベッドライナー

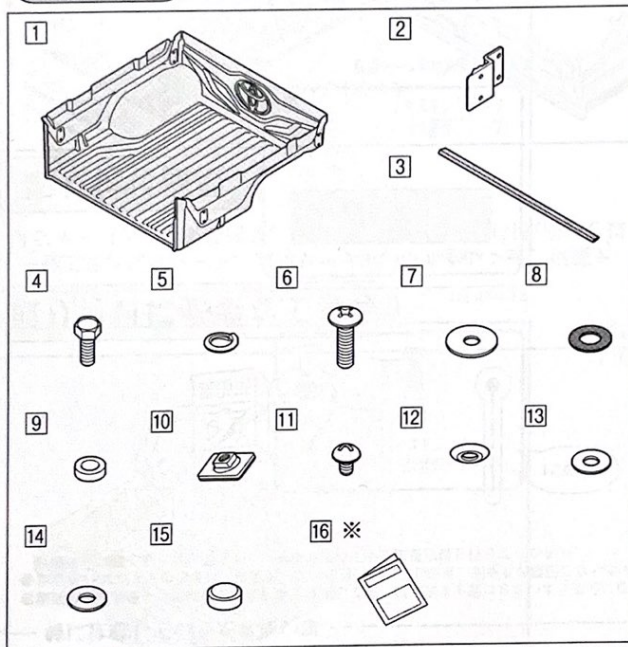
取付要領書

このたびはトヨタ純正ベッドライナーをお買い上げいただきありがとうございます。本書はベッドライナーを取り付ける場合の取り付け要領について記載してあります。取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。
 ※本取り付けは一時的に3人作業となります。
 ※本取り付け動画を配信しています。取り付け前に必ず確認してください。

品番

PC350-0K03S

構成部品



No.	品名	個数
1	ベッドライナー	1
2	ステー	4
3	プロテクター (1500mm)	1
4	六角ボルト (M8×25mm)	8
5	スプリングワッシャー (M8)	8
6	ボルト (M8×25mm)	8
7	ワッシャー (φ32mm)	8
8	ラバーワッシャー (φ28mm)	8
9	カラー (φ14mm)	8
10	ナット	2
11	ボルト(M6 ×6mm)	2
12	カップワッシャー	2
13	ワッシャー (φ24mm)	2
14	ラバーワッシャー (φ22mm)	2
15	キャップ	2
16	取付要領書 (英語版) ※	1

※使用しませんので破棄し、国内版をWebよりダウンロードしてください。

※本製品を取り付ける際には、別品番のプライマーと両面テープが必要です。必ずプライマーと両面テープを使用してください。

	品名	品番
	PAC プライマー K-500 (接着強化剤)	08867-00230
	両面テープ 長さ 625mm × 幅 10mm 計 2 個	08050-35010

補給部品

品番	品名	構成部品
PC350-0K01Z	フィッティングキット	2・4~15
PC350-0K021	プロテクター (1500mm)	3

0K03S

トヨタ自動車株式会社

取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

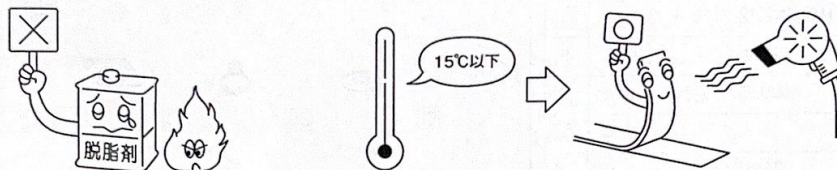
△ 注意 ……注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがあることを記載しています

Ⓐ アドバイス ……スピーディーに作業していただく上で知っておいただきたいことを記載しています

- (1) 本書で指示した以外の車両部品を取りはずさないでください。
- (2) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやクリップ等の紛失や混乱がないように部品毎に整理して、復元する際、間違えないよう配慮してください。
- (3) 傷付き防止のため、車両部品の脱着や製品を取り付ける際は、作業前に保護シートを準備し、作業は必ず保護シートの上で行ってください。また、車両部品及び製品に傷を付けないよう充分注意してください。
- (4) 取り付け面に汚れやほこり、油脂分が付いていると、脱落や剥がれの原因になります。作業は必ず、ほこりのたたない屋内で行い、貼り付け面を脱脂剤等で十分に脱脂清掃してください。
- (5) 製品を一度貼り付けてから剥がしますと、粘着力が低下しますので圧着後は剥がさないでください。
- (6) より強固な接着力を促進するため、取り付け後20分以内は洗車しないでください。

特に注意していただきたい事

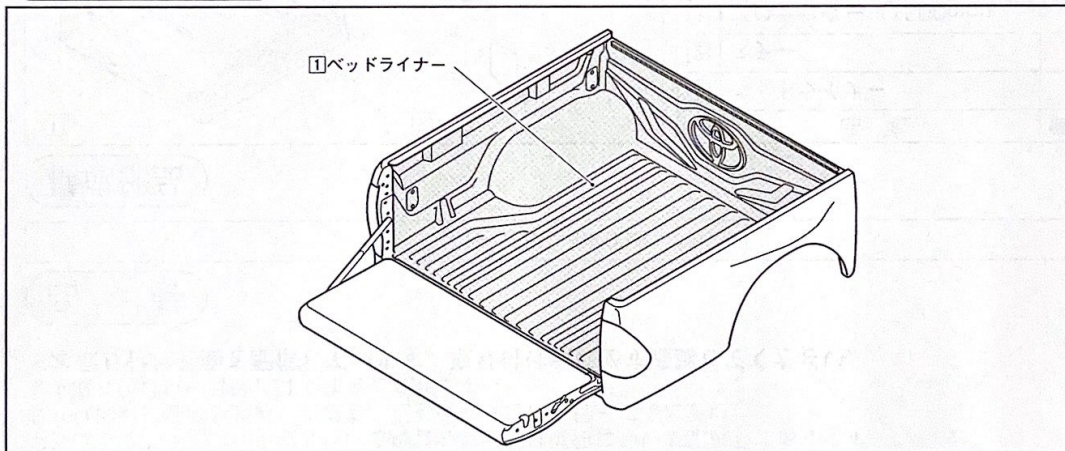
- 脱脂及び両面テープ接着部を脱脂剤等を使用して拭く際、火気を近づけないよう充分に注意してください。
- 気温が15℃以下での作業は、両面テープの粘着力が低下し脱落、剥がれの原因になります。両面テープ部と取り付け面をドライヤーで温めてから接着作業を行ってください。



取り付けに必要な工具等

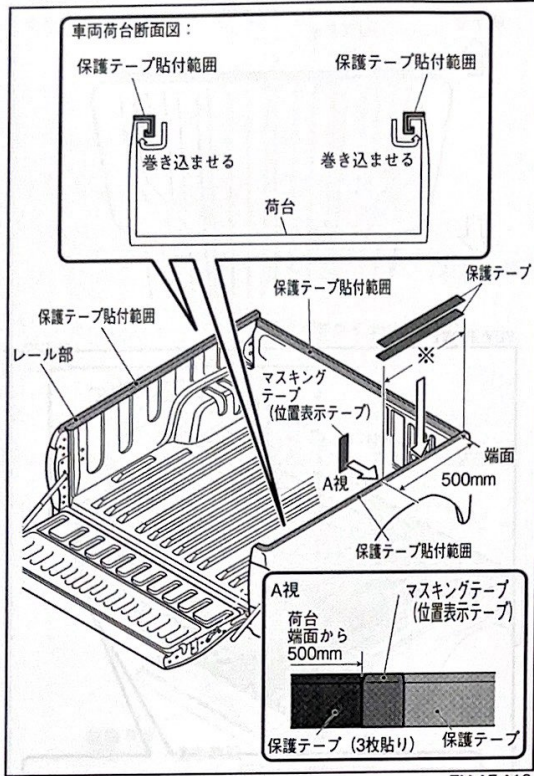
・一般工具、保護シート、六角ソケット、トルクレンチ、保護テープ、手袋、スケール、マスキングテープ、メジャー（布）、脱脂剤等、ウエス、ドライヤー（外気温15℃以下の場合）

取り付け概要

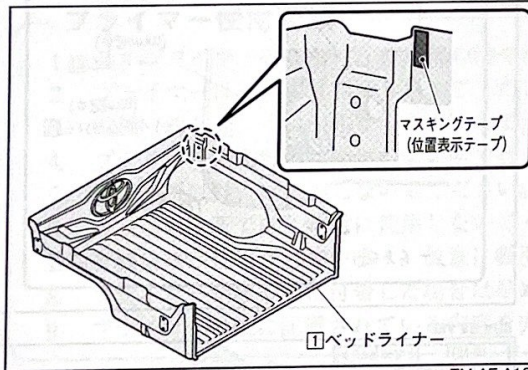


TM-AF-001

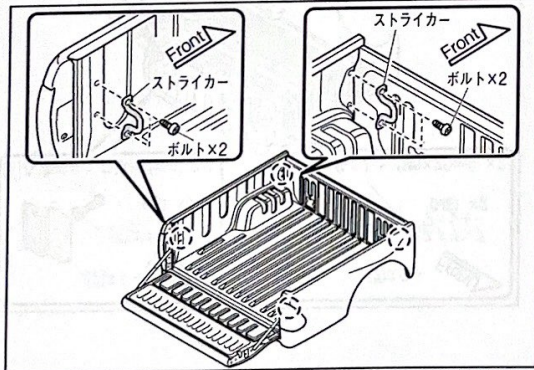
取り付け要領



TM-AF-A13



TM-AF-A18



TM-AF-A01

ベッドライナーの取り付け前準備

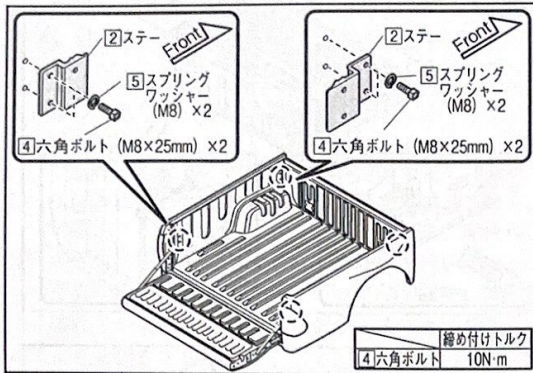
1. 車両荷台の洗浄を行い、汚れ・ゴミを取り除く。
2. 車両側の凶中アミ掛け部に、保護テープを貼り付ける。
3. 凶中※部に、保護テープを2枚重ねて貼り付ける。
4. 図に従い、マスキングテープを、レール部に貼り付ける (位置表示テープ)。

5. 図に従い、マスキングテープを 1 ベッドライナーに貼り付ける (位置表示テープ)。

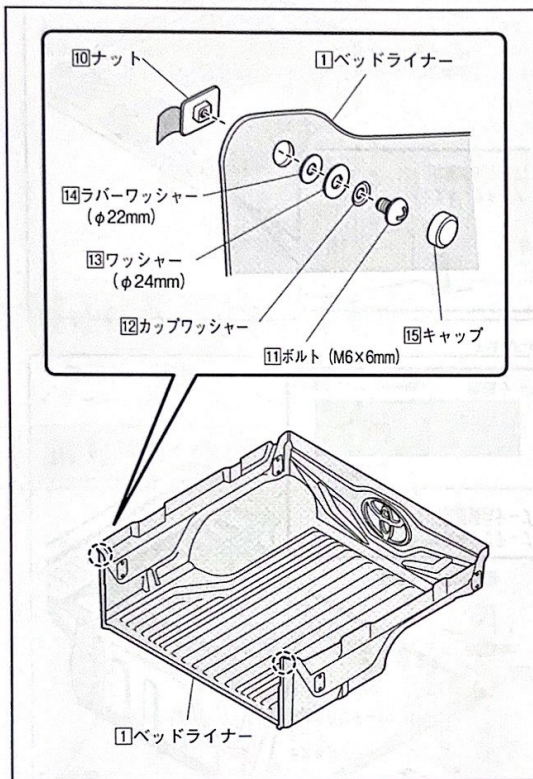
6. ボルト2本をはずし、ストライカーを荷台から取りはずす。
7. 同様に他3箇所も作業する。

アドバイス

取りはずしたボルトは使用しません。



TM-AF-A02



TM-AF-A03

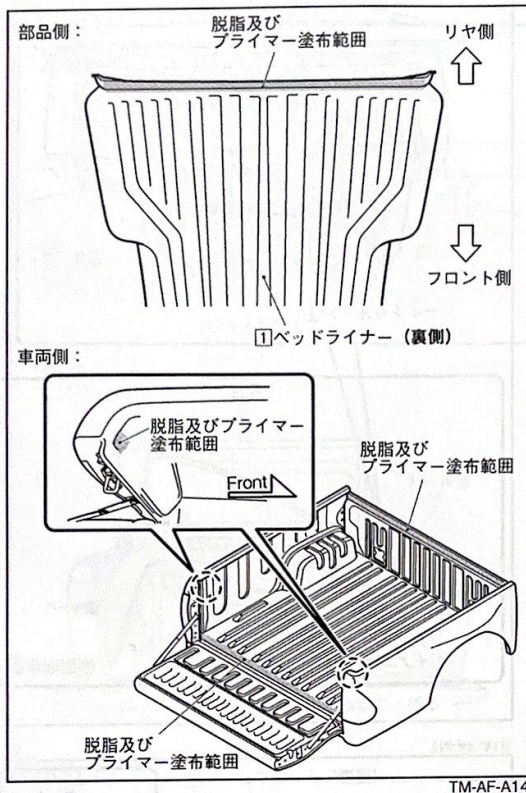
8. トルクレンチを使用し、**2** ステーを、**4** 六角ボルト (M8 × 25mm) 2本及び**5** スプリングワッシャー (M8) 2枚で荷台に取り付ける。

9. 同様に他3箇所も作業する。

10. **10**ナットを、**14**ラバーワッシャー (φ 22mm)、**13**ワッシャー (φ 24mm)、**12**カップワッシャー及び**11**ボルト (M6 × 6mm) で、**1** ベッドライナーの LH 側に取り付ける。

11. **15**キャップを、**12**カップワッシャーに取り付ける。

12. 同様に RH 側も作業する。



プライマー開封前に、必ず下記のプライマー使用要領を読んでください。

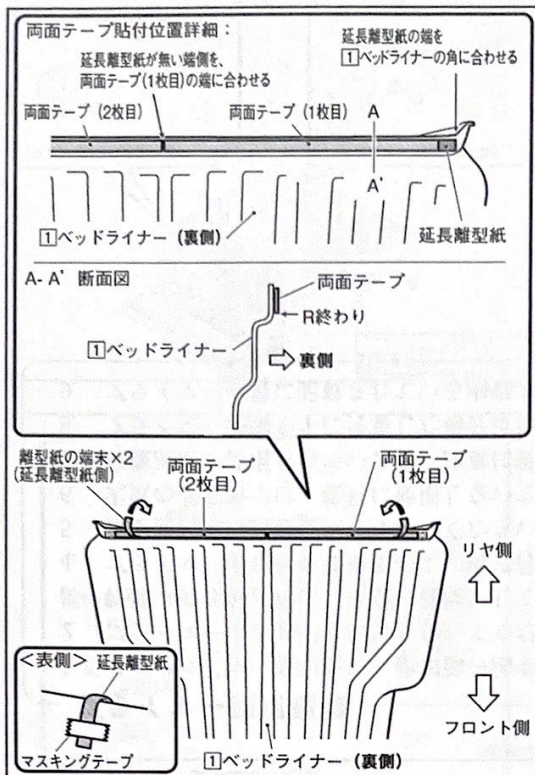
13. 図中アミ掛け部を脱脂剤等で脱脂し、プライマーを塗布する。

△ 注意

プライマーを塗布しすぎないように注意してください。

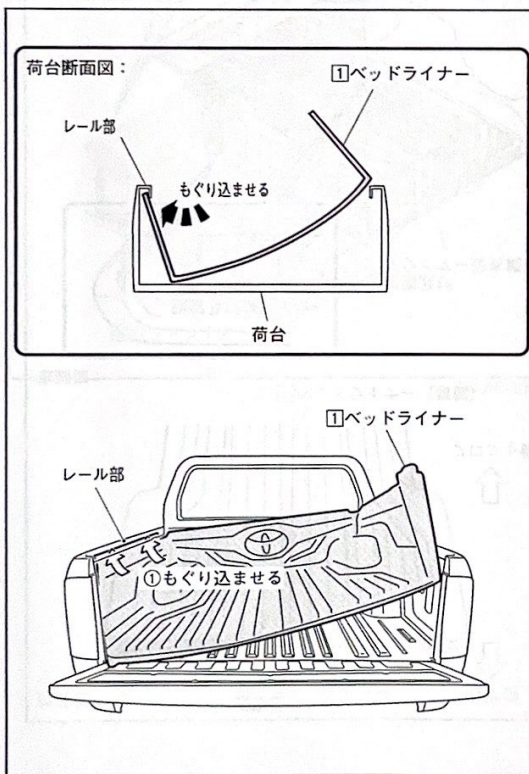
プライマー使用要領

1. 必ずプライマー塗布前に、塗布部の油や汚れ等を取り除いてください。
2. プライマーは、必ず2回塗りをしてください。
3. 乾燥（約3分、指につかない程度）してから取り付け作業を行ってください。
4. プライマー塗布作業は換気の良い所で行ってください。
5. 指定箇所以外には使用しないでください。
6. 火気のある所では、絶対に使用しないでください。
7. 有機溶剤が使用されています。故意に吸引しないでください。
8. プライマーが顔や手に付着した場合は早めに洗剤で洗い流してください。
9. プライマーの袋に記載されている内容を充分読んでから作業してください。



TM-AF-A16

14. 図に従い、両面テープ(08050-35010)裏側の離型紙の端末を50mm程度めくり、①ベッドライナーの端から貼り付ける。
15. もう一枚の両面テープを、延長離型紙がない端側から、14.で貼り付けた両面テープの端に合わせて貼り付ける。
16. 延長離型紙の端末(2箇所)を、表側に折り曲げてマスキングテープで固定する。



TM-AF-A04

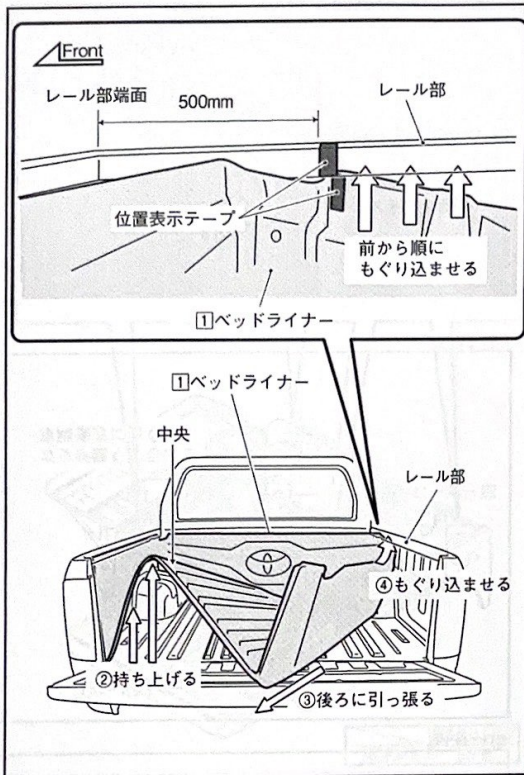
ベッドライナーの仮取り付け

※表紙に記載してある通り、本取り付け動画を配信しています。取り付け前に必ず確認してください。
 <ここから3人での共同作業になります>

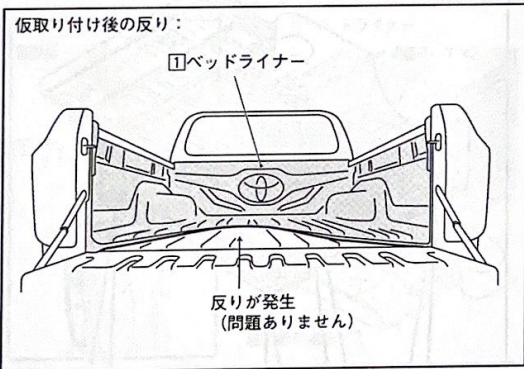
1. ①ベッドライナーの片側を、荷台レール部にもぐり込ませる。

⚠ 注意

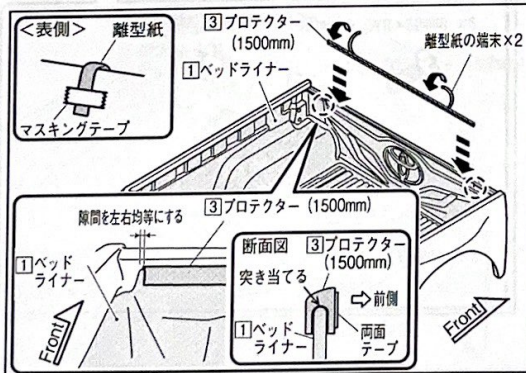
1. ベッドライナー及び車両を傷付けないよう注意してください。
2. 取り付け中は手袋を使用してください。
3. ベッドライナー仮取り付け後は、後部に反りが発生しますが問題ありません。



TM-AF-A05



TM-AF-A07



TM-AF-A08

- ① ベッドライナーの後部中央より端を持ち上げながら、もう片側を荷台レール部にもぐり込ませる。
<ここまでが3人での共同作業です>

<仮取り付け後の反りについて>

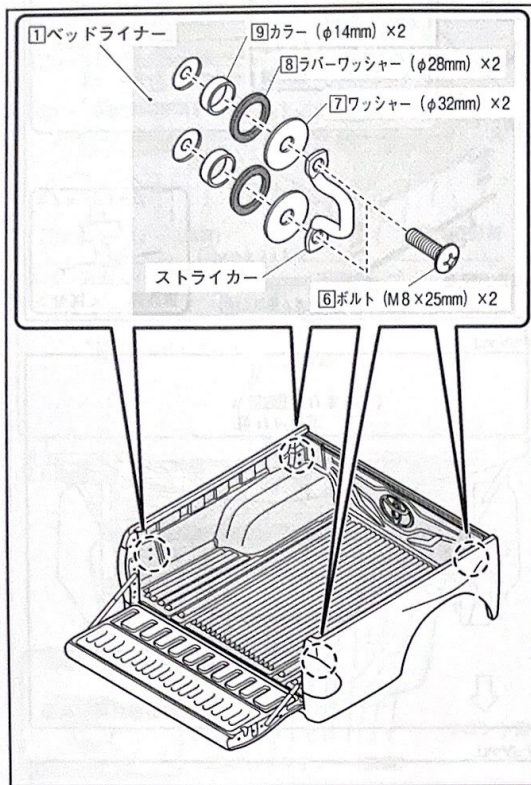
ベッドライナー本体取り付け作業中に反りは軽減していき、両面テープによる圧着も行う為、品質上問題ありません。

ベッドライナーの取り付け

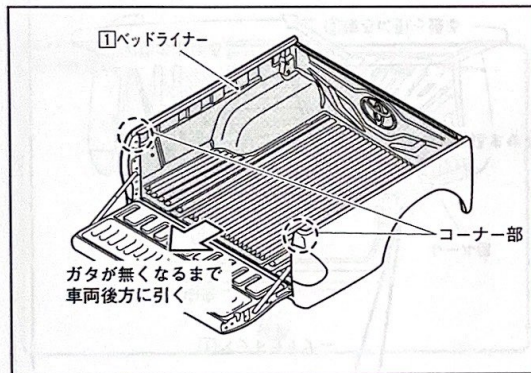
- ③ プロテクター (1500mm) 裏側の離型紙の端末 (2箇所) を 50mm 程度めくり、表側にマス킹テープで固定する。
- ③ プロテクター (1500mm) を、左右の隙間が均等になるように① ベッドライナーへ差し込む。

⚠ 注意

プロテクターは奥に突き当たるまで確実に差し込んでください。



TM-AF-A19



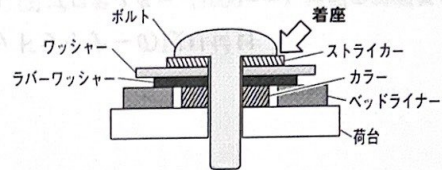
TM-AF-A20

- ストライカーを [9] カラー (φ 14mm) 2 枚、
[8] ラバーワッシャー (φ 28mm) 2 枚、
[7] ワッシャー (φ 32mm) 2 枚及び [6] ボルト
(M8 × 25mm) 2 本で荷台に仮締めする。

⚠ 注意

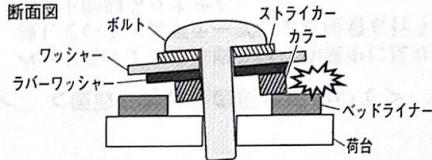
仮締めの際はボルトが着座するまで手締めしてください。

断面図



- 本締めすると次の作業 (ベッドライナーを車両後方へ引く) ができなくなります。
- 手締めが不十分だとカラーがラバーワッシャーとベッドライナーの間に噛み込む恐れがあります。

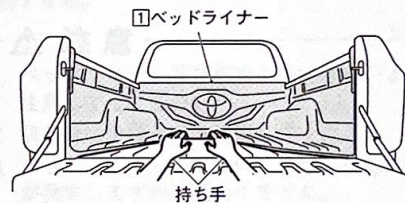
断面図



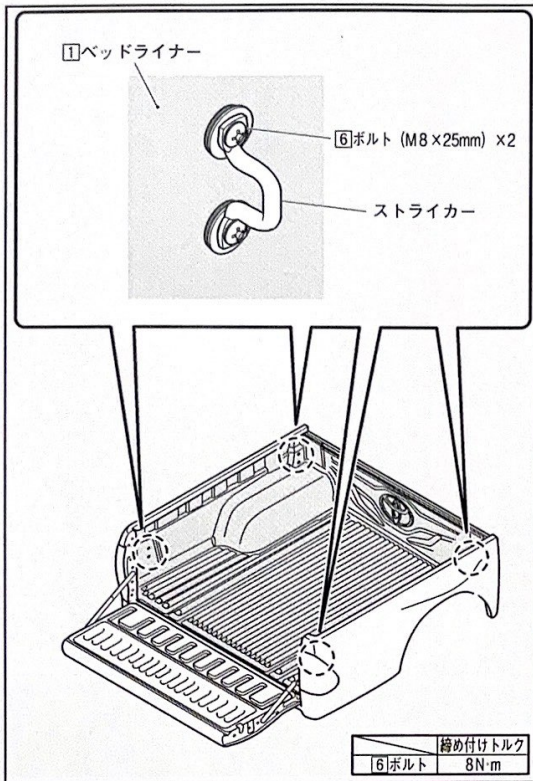
- [1] ベッドライナーをガタが無くなるまで車両後方に引く。

⚠ 注意

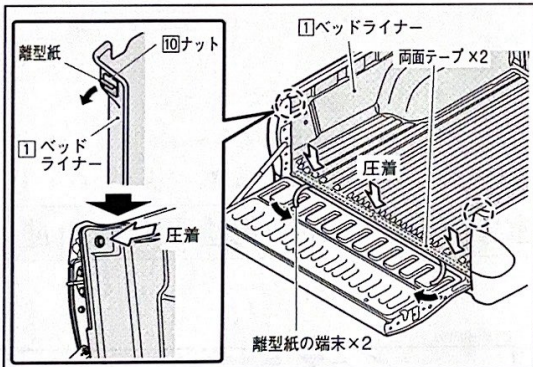
- ベッドライナーと荷台の隙間に手を入れ、確実に車両後方へ引いてください。



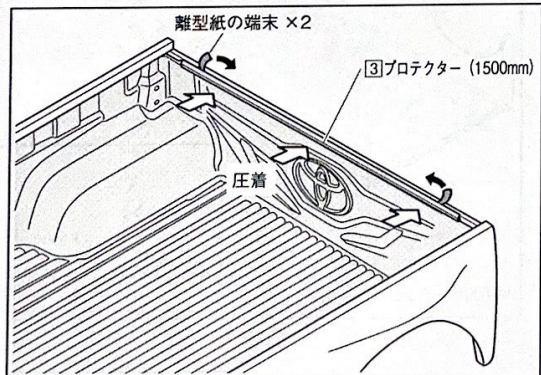
- 引きが不十分だとコーナー部の隙が広がる恐れがあります。



TM-AF-A21



TM-AF-A11



TM-AF-A09

- トルクレンチを使用し、6 ボルト (M8 × 25mm) を本締めする。

⚠ 注意

本締めの際は、ベッドライナーが車両前方側へ移動する恐れがある為、荷台に乗り込まないでください。

- 1 ベッドライナー後方の離型紙の端末 (2箇所) を矢印方向 (図中 → 部) へ徐々にめくり、49N (5kgf) 以上で中央から外側へ圧着する。(図中 ⇨ 部)

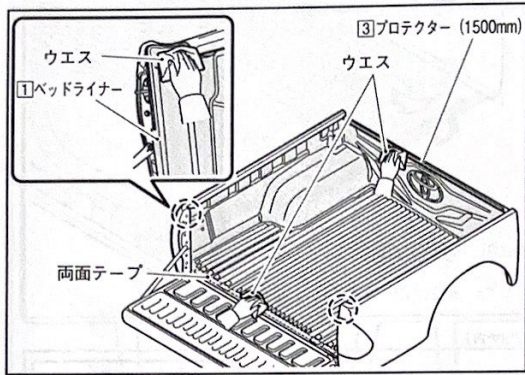
⚠ 注意

ベッドライナーとボデーが密着していることを目視確認してください。

- LH側の10ナットの離型紙を剥がす。
- 10ナット2個の両面テープ部を、49N (5kgf) 以上で圧着する。(図中 ⇨ 部)
- 同様にRH側も作業する。
- マスキングテープで仮止めした離型紙の端末 (2箇所) を矢印方向 (図中 → 部) へ徐々にめくり、49N (5kgf) 以上で圧着する。(図中 ⇨ 部)

⚠ 注意

- 端末部は圧着が不足していると、浮きの原因となりますので、確実に加圧してください。(以降同様)
- こすりつけるような加圧は、剥がれ・傷付きの原因となりますので押し付けるように加圧してください。(以降同様)



TM-AF-A12

ベッドライナーの圧着

1. きれいなウエスをあてがい、再度均等に圧着する。
2. マスキングテープ及び保護テープを全て剥がす。

取り付け完了後の点検・注意事項

- (1) ベッドライナーが荷台に確実に固定されているか点検してください。
- (2) ベッドライナー及び車両部品に傷を付けていないか点検してください。